

北新小学校における多忙化改善への取組

2019/06

1 目的

教員が、子ども一人一人と向き合う時間を確保することにより、児童理解を深め、教育の質を高める。

2 内容

① 会議等の効率化

- ・ 議事ごとに提案・協議時間を決め、定刻終了を目指す。
- ・ 協議と連絡を区別する。

② 学校行事の負担軽減

- ・ 早めの計画・案・提案。
- ・ 資料の共有化により、準備を効率化する。

③ 校内組織の見直し

- ・ 業務の内容を・字にして共通理解を図ることで、 unnecessaryな確認作業など無駄を省く。
- ・ 学校評価に位置づけ、校内組織の統合や削減を目指す。

④ 業務の効率化

- ・ 校務支援システムの効率的な活用を図る。
- ・ 業務の詳細までわかるような引き継ぎの工夫。

⑤ 地域人材の活用

- ・ 外部講師の定期的な活用を計画する。
- ・ 外部人材を活用することで、児童一人一人へのきめ細やかな指導を目指す。

⑥ 定時退校の奨励

- ・ 分掌業務の過剰負担がないか業務内容を確認する。
- ・ 校務分掌業務の見直し。